

テーマ別研究会取組報告

バイオ医薬品技術研究会

富山県立大学 工学部 生物工学科
 教授 伊藤伸哉 教授 橋本正治
 講師 牧野祥嗣



(世話人：伊藤教授)

これまで、発足から2回のセミナーを開催してきました。参加企業にバイオ医薬品関係の情報を提供すること、我々がもつ技術ノウハウを参加企業に提供すること、そして参加企業同士や参加企業と講師がマッチングできるように橋渡しすることを目的としています。

会そのものはまだ立ち上がったばかりですが、第1回の講師とあるバイオ装置の製造メーカーとがセミナー後も継続的にコンタクトをとっていると聞いていますし、いくつかバイオ医薬関係の共同研究も進んでいます。嬉しい限りです。このような事例を多く輩出していくことが、大切ですし、私たちの使命だと思います。

次年度については、取扱いが難しいと言われ

る抗体医薬の分析技術に関する見識者と呼ばれる講演や、薬事法(評価・申請)に関する専門家を呼んで勉強会を開催したいと考えております。より参加企業のニーズにマッチしたものを企画していきます。

研究会には、既に10社程度参加して頂いておりますが、今後は研究会員の拡大というよりは、より有用な情報の提供や各事業体との良好な関係構築に向けてのサポートを行っていきたいと思います。

有機ナノ材料システム研究会

富山県立大学 工学部 機械システム工学科
 教授 川越 誠 准教授 堀川教世
 准教授 真田和昭 准教授 竹井 敏



(世話人：川越教授)

今年度の取組としては、10月に第1回有機ナノ材料システム研究会を、富山県ものづくり研究開発センターにて、同センターの高分子・複合材応用研究会との共催で開催しました。高分子・高分子系複合材料という分野の中でそれぞれ違った取組を展開している本学4名の教員の研究内容を紹介しました。

本研究会では、4名の教員が持つそれぞれのシーズを個々の研究に活かすばかりではなく、教員同士がスクラムを組み、異分野も取り込むことで、新しいイノベーションの創造を図っていきたく考えています。高分子系材料の開発、特性評価、加工技術などの研究分野に広く対応することで、参加企業の皆様にも今まで部分的であった研究テーマについて、一貫し

たより大きな研究テーマとして取組むことも可能となります。4名の教員でシーズを共有しながら、チームプレーで取組んでいきたいと思えます。オーケストラのように各自が各パートを受け持ち、またアンサンブルを組みつつも、全体としての発展に向け連携し合うことを大切にしたいと思います。

次年度は、ものづくりセンターに導入された装置(「セルロース混合可塑化成形装置」など)を積極的に活用した研究や各種講演会を行っていきたくと思えます。ポリ乳酸などの新しい材料の耐久性解析など新しい可能性を研究し、オープンな形で研究会を盛り上げていければ良いと思えます。



2012年3月発刊
 No.013

Techno Times

富山県立大学研究協力会 会報



目次

■富山県立大学研究協力会 平成23年度活動報告

■富山県発! 頑張る企業の経営者は想いを語る
 日医工株式会社 代表取締役社長 田村友一氏

■共同研究事例紹介
 株式会社村中手芸×生物工学科 中島教授
 株式会社田定工作所×機械システム工学科 森教授

■富山県立大学研究協力会 会員企業紹介
 株式会社シキクハイテック
 株式会社ナガエ
 株式会社サイト
 株式会社喜八食品

■Information
 富山県立大学産学官ものづくりサテライト・ラボ開所
 ご活用ください～受講料の助成制度があります～

■テーマ別研究会取組報告
 バイオ医薬品技術研究会
 有機ナノ材料システム研究会

富山県立大学研究協力会事務局

〒939-0398 富山県射水市黒河5180 TEL: 0766-56-0604 FAX: 0766-56-0391
 E-mail: tpu-liaison@pu-toyama.ac.jp

URL <http://www.pu-toyama.ac.jp/kyouryokukai/>